

第6回東京都福祉人材対策推進機構運営協議会 会長挨拶

日頃より、東京都における福祉人材施策に対し御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本運営協議会は、福祉人材の掘り起こし、育成、職場定着までを総合的に支援することを目的に、様々な立場の皆様が一堂に会し、この難しいテーマに一体となって取り組んでいくことを確認し、推進する場として開催しているところです。

しかしながら、未だ終息しない新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今年度につきましても、昨年同様書面形式にて開催させていただくことといたしましたので、何卒御理解のほどお願い申し上げます。

さて、昨年令和2年度は、機構の検討テーマを、「東京都福祉人材センターのあり方について」とし、大都市東京ならではの民間の有料職業紹介事業者が台頭する中、公的センターである福祉人材センターの位置づけについて改めてご議論をいただきました。

センター事業の中でも、特に事業者のみなさまの期待の大きい無料職業紹介事業に焦点を当て、現状分析と今後強化すべき5つの方向性を示していただきました。詳細は「資料3」「資料6」に記載しておりますので御高覧ください。

報告書をいただき、改めて福祉人材センターに寄せる皆様の厚い期待と信頼を強く感じたところです。長引く新型コロナウイルス感染症の蔓延が、経済・社会生活へも深刻な影響を落とし、福祉現場の運営も日々その対応に追われているところです。

現在のコロナ禍における危機的雇用状況は、一方で、福祉人材にとっては、新たな人材を福祉職場に迎え入れる契機となしうるものです。令和3年度は、この検討結果等を踏まえて、確実な福祉人材の確保に向けて連携して取り組んでいきたいと考えております。

引き続き、皆様の御協力をいただけますようお願い申し上げます。

令和3年6月30日

東京都福祉人材対策推進機構

会長 東京都副知事 梶原 洋